

調剤併設型ドラッグストア乱立時代？

1) 近所でみる調剤併設型ドラッグストア

非常にローカルな話題になりますが、我が家の近くに1 Kmほど離れた南北に走る2つの幹線道路があります。その一つの道路にこれまで富山にはなかった調剤併設型のドラッグストアのスギ薬局さんが数年前に開店しました。その後まもなくでしたがその南わずか500mほど離れたスーパーマーケットの空き店舗を利用して調剤併設型の第2のスギ薬局さんが開店しました。そしてつい最近元からあるスギ薬局さんの斜め北側200mの場所に調剤併設型ドラッグストアのクスリのアオキさんが開店しました。さらにその道路を北に進むと一般用薬の第2類と第3類医薬品を置いてあるDIY中心のスーパー、すぐ北に行くと調剤併設型ではないドラッグストアのウェルシアさんがいます。そこから少し距離はありますが北に進むと調剤併設型ドラッグストアのクスリのアオキさんが現われます。もう一方の幹線道路にも調剤併設型ドラッグストアのウェルシアさんとクスリのアオキさんが250mほど離れた場所にあり、さらに調剤併設型ではないドラッグストアもその幹線道路沿いには数店存在しています。顧客の取り合いのような形になっており、まるでコンビニエンスストアが近隣にライバル店を開店させるのに似ています。競争に負けたコンビニが閉店する姿をよく見ますが、今のところ近所で閉店したドラッグストアは見えないもののドラッグストアの場合は店舗の規模も大きく投資額も莫大になると思われるので、このように乱立気味に開店させて将来的にどうなるのかと心配になります。

2) 富山市内の薬局数に占める調剤併設型ドラッグストア数の割合

2024年12月2日付けで東海北陸厚生局のホームページで公開されている富山市内の管理薬剤師のいる調剤併設型ドラッグストアと一般の調剤薬局を区別して数えてみました(誤差範囲内の数え間違いがあるかもしれませんが)。

富山市内における調剤可能な調剤薬局とドラッグストアの総数	224店(100%)
ドラッグストアを除く調剤薬局数	165店(73.7%)
調剤併設型ドラッグストア数	59店(26.3%)

※富山市内の調剤併設型ドラッグストアの内訳※

クスリのアオキ	26店(44.1%)	ウェルシア	14店(23.7%)
Vドラッグ	9店(15.3%)	スギ薬局	8店(13.6%)
ドラッグセイムス	2店(3.3%)		

その都市における人口数にも依ると思いますが富山市内では調剤可能な薬局数の約1/4をドラッグストアが占めていることが分かりました。この割合は調剤併設型ドラッグストアが乱立時代に入っているととっても良い数値だと思います。近所のドラッグストアを見る限り門前薬局では無いケースが多いので[受付処方箋数/薬剤師数]はかなり少ないと予測されます。にも関わらず一般にドラッグストアは高給与で薬剤師募集をしています、その原資は一体どこから来ているのでしょうか？調剤収益の高い店舗からの分配、収益率の高い商品販売からの分配、利率の良い投資収益からの分配等が考えられます。また一部ドラッグストアでは収益悪化という話も聞きます。ドラッグストア乱立時代と思われる今、薬剤師給与が高いからと言って直ぐに飛びつくのは考えものかもしれません。(終わり)